

道

第18号 R7.6.25



今年の夏も暑くないとう
です。今から耐暑対策を！

六月定例議会終了

六月定例町議会の教育課関係一般質問とそれに対する答弁の概要は次の通りです。

① 中村議員・町新図書館「このみch-i」の教育活動活用計画について

○放課後や休日の児童生徒の利用を増やす取組の工夫を進めます。

② 福山議員・中学生の夜間下校中の安全対策について

○自発光反射材等の導入検討と子どもの危機回避能力の育成を図ります。

③ 北原議員・食の安全教育と学校給食について

○食品添加物に関する授業の充実など、児童生徒の食の安全意識を高める食育の取組を健康推進課と連携して推進します。

④ 杉村議員・通学路の拡幅について

○町通学路安全推進会議等における通学路に関する要望の検討を行います。

今回の議会も、南関町の子どもの知育・徳育と生命の安全に関する大切な内容の質疑応答がなされました。教育委員会として、答弁内容の確実な実施・検討を行うとともに、より良い解決方法を考えていきたいと思っております。

ウェルビーイングに生きる

身体的・精神的・社会的に満たされた状態が持続している様子をウェルビーイングと言うそうですが、武蔵野大学の保井俊之教授は「ハツラツ、ウキウキ、ワクワク」と表現されていました。なるほどと思います。

日本中、世界中の全ての人々が、ウェルビーイングであればよいのですが、現在そうはなっていません。国内では、いじめ・差別・虐待・自死等の問題、世界では戦争や人種差別等、数え上げればきりがありません。

ウェルビーイングに生きる人々を増やすにはどうすればよいか？保井さんによると、『自分だけでなく他人をケアできる人間を育てること』と話され

ていました。教育の大切さを改めて感じた次第です。

米作りに挑戦

自宅横に田んぼがあり、これまで近所の方に耕作をお願いしていたのですが事情により戻ってききましたので、一念発起米作りをすることにしました。

とは言うものの、米作りのノウハウや道具など皆無の状況です。近所の先輩や同級生からお膳立てしてもらいながら先日、田植えを行いました。梅雨の中休み中の蒸し暑い日でしたので、終わってぐったりとしました。

夕方、田んぼの畔に立って田植えの跡を眺めていると、早苗を揺らす風が心地よく吹いてきました。

今日の論語

せん求が曰く「子の道を説ばざるには非ず、力足らざればなり。」子の曰わく、「力足らざる者は中道にして廃す。今汝は画れり。」と。

せん求が「先生に学ぶことを嬉しく思わないわけではありませんが、私は力が足りないのです。」と言ったので、孔子は、「力の足りないものは途中で止めることになるが、今お前は自分から見切りをつけている。」と話された。

自分の限界を感じてあきらめる場合があるかと思えます。果たしてそれは正しい選択でしょうか。もう少しやれる場合もあるかもしれません。「人間は、死ぬまで成長する。」という人もいます。